

露地・雨よけ

サクランボ特報 No.3

平成 29 年 4 月 21 日
JA中野市営農センター
JA中野市サクランボ部会

生育は、昨年よりも7～8日遅れ、ほぼ平年並みの状況です。
定期防除・管理作業は、遅れないよう計画的に実施しましょう。また、乾燥状態が続く場合は、灌水を適宜実施しましょう。

薬剤散布

隣接する園地や他作物にかからないようにする。

* 散布時期 落花後（4月末～5月上旬）

* 散布薬剤 (水 100ℓ 当り)

展着剤	20ml	
サムコルフロアブル 10	40ml	(前日、3回)
ナリア WDG	50g	(前日、3回)

・ 散布日	月	日
・ 散布量		ℓ

* 散布量 : 10a当り 400ℓ 動噴500ℓ

* 対象病害虫：ケムシ類、ハマキムシ類、灰星病、黒斑病、炭そ病、幼果菌核病、褐色せん孔病

* 注意事項 : ◎訪花昆虫保護のため、殺虫剤の使用は十分注意する。

- ①弱樹勢が心配される場合は、「ビビッドグリーン」の500倍を加用散布する
- ②訪花昆虫引き上げ後—ショウジョウバエ類（ケムシ類、ハマキムシ類）が発生する場合、
劇 バイスロイド EW の4000倍（収穫7日前、2回）を特別散布する。

劇・・・劇物をご購入の際は、印鑑をご持参ください

③ナリア WDG は、ぶどう、ピオーネ、西洋ナシ、ル・レクチェ等に薬害が生じる恐れがあるため、他作物同様、飛散しないようにする。

④コスカシバの発生園は、4月下旬～5月上旬にスカシバコンを10a当100本設置する。

◎今後の管理 * 遅霜の対策は万全に。

- (1) 園内の除草、特に地際部はきれいにいきり害虫の巣にならないようにする。
- (2) 風対策—支柱立て等行っていない場合は、実施する。
- (3) 枝の誘引—側枝形成をはかりバランスの良い樹形に仕立てる。

○除草剤の散布

(放花昆虫保護のため5月中旬頃まで見合わせる、訪花昆虫回収後)

- ・ 使用剤 ・バスタ液剤・ザクサ液剤（収穫前日、3回）
- ・ 使用方法 水 100～150ℓ に500～750ml を使用する。